

令和4年度 事業報告

概要

本年度は、新型コロナウイルス感染症が発症してから3年が経過する中、感染症も小康状態が続き、マスクの着用も本人の判断に委ねられ、経済活動も徐々に回復している状況であります。しかし、ロシアがウクライナに侵攻してから1年が経過し、未だ終息の見えない状況で、原油高騰による物価の高騰などにより、世界経済が低迷し我が国の景気の動向が心配されているところです。

そうした中、シルバー人材センターを取り巻く社会環境も大きく変化し、昨年度実績より、受注件数、契約額も大幅に減少しました。また、会員数の減少傾向が続き、高齢者の多様な就業ニーズへの対応など、依然として厳しい状況が続いています。

このような中、当センターは、公益社団法人として市民のみなさまにとってシルバー人材センターが果たす役割は、一層重要なものとなっており、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、地域社会に密着したシルバー人材センター事業に取り組み、備前市の活性化に貢献しています。

センターの事業推進には、やはり、会員あつてのセンター事業でありますので、引き続き会員の加入促進に努めてまいります。

備前市をはじめ各関係機関や、市民のみなさまの、ご理解とご支援、ご協力により、事業が推進できましたことを深く感謝申し上げます。

1. 備前市シルバー人材センター事業活性化計画

以下のとおり目標を設定し、事業の活性化を図りました。

《 就 業 機 会 目 標 》

区 分		(参 考) 実 績			令和4年度		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標	実績	達成率
会員数 (人)	男	108	107	102	107	89	83.2%
	女	44	44	42	45	45	100.0%
	計	152	151	144	152	134	88.2%
就業率 (%)	請負・委任	89.4%	90.7%	90.9%	92.5%	93.2%	100.8%
	派遣	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
就業延人員 (人日)	請負・委任	13,830	13,512	13,409	14,000	13,465	96.2%
	派遣	1,328	1,557	1,375	1,450	1,277	88.1%
受注件数 (件)	請負・委任	2,473	2,375	2,330	2,400	2,317	96.5%
	派遣	16	15	15	14	14	100.0%
契約金額 (千円)	請負・委任	72,878	74,394	70,606	74,000	68,896	93.1%
	派遣	9,189	11,660	10,371	11,000	9,810	89.2%

※ 目標は「第二次 中期活動計画」(平成30年度から5年間の計画)

◎ 会員・役職員が一体となって、会員の加入促進や就業機会の拡大に努めましたが、会員数や請負・委任事業の項目は、目標に届きませんでした。

2. 組織活動の活性化

シルバー人材センターの基本理念「自主・自立、共働・共助」の実現に向け、会員参加の自主運営組織としての活動を推進しました。

- ① 理事会・専門部会の機能強化により「自主・自立」の運営に努めました。
- ② 会員同士の声掛けによる「1人1会員紹介運動」を展開しました。
- ③ 会員による新入会員の紹介報奨制度や初年度会費2分の1軽減制度の活用により、新規会員の入会を推進しました。
- ④ 会員募集と仕事案内のチラシを作成し備前市の広報誌とともに市内の全戸に配布していただき、新規会員の勧誘に努めました。
- ⑤ 高齢等を理由に退会を希望する会員との面談や、ゴールド会員制度の活用により、退会者の抑制に努めました。
- ⑥ 「共働・共助」の下、2人以上での就業を基本とし、会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図るよう努めました。

3. 普及啓発活動の推進

市民と地域社会に、シルバー事業の基本理念及び仕組みを広く周知することで市民のみなさまの信頼と理解が得られるよう、普及啓発活動を推進しました。

- ① 広報誌「シルバーびぜん」を発行し、備前市の広報誌「広報びぜん」とともに市内の全戸に配布していただき、普及啓発に努めました。
- ② ホームページを作成し、広く普及啓発を行いました。
- ③ 地域社会貢献の一環として、2月に備前市総合運動公園において植木の剪定や落ち葉かき等のボランティア活動を、会員46名により実施しました。

4. 就業開拓と就業機会の拡大

「みんなで開拓、みんなで就業」がシルバー事業の基本であり、役職員をはじめ、会員一人ひとりが就業開拓に努めました。

5. 安全・適正就業の推進

- ① 9月に就業現場の安全・適正就業パトロールを、岡山県連合会の安全就業推進員の同行で実施しました。
- ② 2月に「安全・適正就業委員及び推進員合同会議」を開催し、就業中の交通事故が多発していることから注意喚起を行うとともに、備前警察署による交通安全講習会を実施しました。
- ③ 交通事故防止と安全運転の励行のため「無事故・無違反チャレンジ200日」に当センターから2チーム（20人）が参加し、両チームとも達成しました。

6. 調査・研究の促進

地域社会の就業機会の多様化に対応し、センターが時代に適合した事業の展開を図っていくために、先進地センターの調査及び研究に努めました。

また、備前市の「介護予防・日常生活支援総合事業」の「ささえあい訪問サービス」への積極的な参画をしてまいりました。